

0404

第五四第

極

第十二師團
司令部留守部 留參編第一〇二號

滿洲派遣第十二師團輸送詳報提出ノ件

昭和十一年五月二十一日 第十二師團長 清水喜重

陸軍大臣 伯爵 寺内壽一 殿

首題ノ件別冊ノ通提出ス

別冊
五月十八日
清水喜重

昭和十一年五月二十五日
午後九時

陸軍部

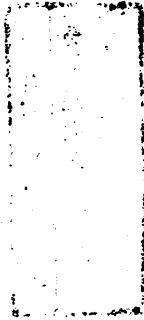
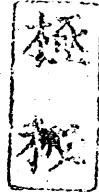
陸軍部
昭和十一年五月二十五日

軍

重

(日本標準規格 11-5)

0405



滿洲派遣第十二師團輸送詳報

昭和十一年五月二十日
第十二師團司令部留守部調製

一、準備

滿洲派遣第十二師團輸送詳報

1 出發内地港灣ニ關スル交渉

イ 博多港利用ニ關スル交渉

二月一日參謀本部船舶班長ト別紙第一ノ如ク内交渉ヲ實施ス

ロ 仙頭大尉ト内地港灣ニ關スル協議

二月十九日附參謀本部庶務課長ヨリ參謀長ニ時局輸送事務打合ノタメ仙頭大尉派遣ニ關シ通牒ニ接ス

二月二十四日仙頭大尉ノ到着ト共ニ協議スルニテリ且ツ鈴木參謀ヲ派遣シ現地ノ偵察ヲナサシメ其ノ結果別紙第二ノ如ク協定ス

ハ 内地港灣ノ決定

二月二十八日別紙第三ノ如キ電報ヲ以テ決定セシヤリ

ヲ確ム

三月八日仙頭大尉ヨリ電話ヲ以テ内地港灣ハ協定通り決定セラル旨通知ニ接ス

2 配船區分ニ關スル交渉

派遣地ニ於ケル交代ニ應スル如ク輸送セラレンコトヲ願慮シ左ノ如ク交渉ス

イ三月十四日鈴木參謀ヲ宇品運輸部ニ出張シ商討區分ニ關シ協議セシム其ノ結果別紙第四ノ如キ協定ヲナス

ロ三月十八日前項ニ基キ更ニ門司鐵道局及門司運輸部出張所長ト協議ノ結果別紙第五ノ如キ希望ヲ得之レヲ參謀本部及運輸部各主任者ニ送付ス

3 鐵道輸送ニ關スル交渉

派遣地ニ於ケル交代ニ應スル如ク輸送セラレンコトヲ願慮シ左ノ如ク希望ヲ發ス

イ内地鐵道ノ輸送ニ關シテハ前項ノ如シ

ロ朝鮮鐵道及滿洲鐵道ノ輸送ニ關シテハ三月十九日別紙第六ノ如キ希望ヲ輸送請求表ト共ニ送付ス

4 輸送請求表ノ提出

イ師團派遣規定ヲ以テ三月八日各隊ヨリ其ノ輸送請求表ヲ提出セシム

ロ先遣參謀渡邊少佐三月十日歸來シ各隊ノ配當決定セラレ之レニ基キ到着地ヲ定メ又第一線ニ配當スヘキ砲兵要員、第二次輸送部隊ニシテ第一次ニ輸送スルヲ適當トスルモノ等ヲ加ヘ師團トシテノ輸送請求確定シ三月十七日參謀總長及運輸部長ニ十九日朝鮮軍司令官、關東軍司令官ニ提出（送付）ス

朝鮮軍司令官、關東軍司令官ニハ別紙第六ノ希望ヲ附シ

0409

同時ニ運輸部主任者ニ送ル

二

ニ 實 施

1 輸送ニ關スル命令、計畫受領ノ景況

イ 輸送ニ關スル臨參命受領

三月二十一日臨命第三一九號滿洲派遣師團派遣（口船）輸送ニ

關スル指示ヲ受領シ直チニ各隊ニ復寫傳達ス

ロ 船船輸送ニ關スル計畫受領

三月二十五日字船第十八號ニ依リ第十二師團派遣船輸送

ニ關スル通牒ニ接ス直チニ各隊ニ配布ス

ハ 内地鐵道輸送ニ關スル計畫受領

三月三十日參謀本部庶務課長ヨリ滿洲派遣第十二師團内地

鐵道輸送ニ關シ被輸送部隊ニ與フル指示ヲ受領シ配布區分

ニ依リ直チニ各隊ニ配布ス

ニ無蓋車ヲ利用スル馬匹輸送ニ關スル通牒受領

三月三十一日關東軍鐵道線區司令官ヨリ線司第一〇五號ヲ以

テ第二次輸送部隊中砲兵隊馬匹三十六匹ニ對シ戰時計畫セ
ル無蓋車輸送ヲ實施スヘキ道隊並ニ從來ノ試驗成績ヲ受領
ス

ホ朝鮮鐵道輸送ニ關スル計畫受領

四月七日朝鮮軍ヨリ朝鮮鐵道輸送ニ關スル計畫ヲ受領ス

ヘ滿洲鐵道輸送ニ關スル計畫受領

四月七日奉線支輸第一七三號ヲ以テ第二次輸送部隊ノミノ
輸送計畫ヲ受領ス

第一次輸送部隊ニ就キテハ四月七日關東軍參謀長ヨリ左記
ノ如キ電報ニ依リ承知ス

左記

十二師參總一〇四號

貴師團第一次派遣部隊ハ最初安奉線經由ノ豫定ナリシカ臨
命第三二〇號ニ基キ京元線經由牡丹江以東ノ部隊ハ京圖線
ハルピン部隊ハ京圖線

拉濱線經由輸送スル如ク變更シ朝鮮軍ノ輸送計畫ニ連接ス
ル如ク計畫中ニ付計畫出來次第急報ス

ト滿洲鐵道輸送ニ關スル計畫受領

四月二十一日奉線支輸第二一〇號ヲ以テ滿洲鐵道ノ鐵道輸
送計畫ヲ受領ス既ニ諸隊出發後ナルヲ以テ何等處置スル所
ナシ

2 實施ニ關スル諸交渉ノ景況

イ朝鮮鐵道輸送ニ於テ京元線、安奉線何レヲ經由スルヤニ關
スル交渉ノ經緯

四月四日朝鮮軍參謀長ヨリ參謀長宛左記電報ヲ受領ス

左記

貴師團軍醫部、獸醫部ハ安東ノ經由ノ如キ考ヘアルカ如キ
モ京元線通過トス爲念

四月四日直チニ右ニ對シ左記ノ如ク返電ス

左記

渡邊參謀ヨリ三浦參謀へ

當師團馬山上陸部隊ハ安東、奉天ヲ經テ任地ヘ向フ計畫ナ
リ爲念

細部ハ鈴木參謀七日午後四時東京ニ着ニテ打合ヲ行フ
四月四日夜直チニ右ニ關シ左記ノ如ク返電アリ

左記

三浦參謀ヨリ渡邊參謀へ

貴師團輸送ハ參謀總長ノ指示ニ依リ京元線ヲ經由シテ輸送
セラレ安東經由ハ貴方ノ誤ナリ

何ニ根據ヲ有スルヤ返

四月五日直チニ右ニ關シ左記ノ如ク朝鮮軍及關東軍參謀長
宛返電ス

朝鮮軍參謀長へ

當師團ノ先發員ノ關東軍トノ連絡ノ結果ニ

依り第一次輸送部隊ハ全部安_ニ線經由ト承知セリ朝鮮内鐵道輸送ノ計畫至急承リ度返

關東軍參謀長へ

當師團先發員ヨリノ報告ニ依ルニ第一次輸送部隊ハ全部安奉線經由ナルカ如キモ朝鮮軍ハ京元線經由ト稱ス第一次輸送ノ計畫至急承リ度返

四月七日關東軍參謀長ヨリ前項へニ搦タルカ如キ電報ヲ受領シ安奉線經由ニアラスシテ京元線經由ト確認セリ

口朝鮮鐵道輸送ニ關スル計畫變更ニ關スル交渉ノ經緯

三月十九日別紙第六ノ如ク輸送ニ關シ希望ヲナシアルニ不

拘四月七日受領セル計畫ハ全ク之レニ反ス

故ニ直チニ希望ニ合スル如ク變更ニ關シ電報スルト共ニ鈴木參謀ヲ急派ス

鈴木參謀ハ四月八日午後六時四十分太田驛ニ着シ變ニ到着

五

セル朝鮮軍三浦參謀ト協議ス然ルニ朝鮮軍ノ計畫セル所ハ
 馬山ニ於ケル上陸順序ニ應セシメタルモノニシテ其計畫變
 更ハ時日ノ關係上最早ヤ不可能ナルヲ知り且ツ集團運行ニ
 依リ概ネ一日間ニ牡丹江周邊ノ地區ニ集結シ得ル狀況ニ在
 ルヲ以テ已ムナク之レヲ容認スルニ決セリ

3 實施ニ關スル規定示達

前記ノ如キ命令、計畫、交渉ノ結果ニ基キ派遣輸送ニ關スル
 規定ヲ確定シ四月一日之レヲ各部隊ニ示達ス

三 乗船（上陸）地師團派遣員業務實施ノ狀況

1 乗船（上陸）地師團派遣員ノ編成別紙第七ノ如シ

2 乗船（上陸）地師團派遣員業務實施ノ景況及將來ニ關スル意
見別冊第一乃至第六ノ如シ

四 停車場司令部業務實施ノ狀況

1 停車場司令部ノ編成別紙第八ノ如シ

2 停車場司令部業務實施ノ狀況別冊第七乃至第十三ノ如シ

五 將來ニ關スル意見

1 輸送ニ關スル臨命ノ通報的配布及主任者ノ會同ニ就テ
 當師團ノ今次輸送ニ於テハ内地ニ進ハ參謀本部第三部長、
 船舶輸送ニ於テハ運輸部長又朝鮮鐵道ニ於テハ朝鮮軍司令
 官、滿洲鐵道ニ於テハ關東軍司令官之レカ輸送處理官タリ
 故ニ師團ハ此ノ四結節カ如何ナル計畫ヲ以テ輸送セラルル
 ヤ又其ノ間ノ運賃ハ果シテ適當ニナリアルモノナルヤ全ク不明
 瞭ノ間ニ而モ第一線ノ交代要領ニ合致セシムル如ク輸送ヲ
 希望セサルヘカラス而シテ前記ノ如ク第一次輸送部隊ハ編
 成完結シ正ニ衛戍地ヲ出發スル迄安泰線經由ト信シアリ斯
 クノ如キハ師團ヲシテ無用ノ努力ヲナサシムルモノニシテ
 特別ノ目的ヲ有セサル限り各結節ニ與ヘタル臨命ハ通報的
 ニ派遣師團ニ配布セラルルヲ要ス

又今次輸送ノ如ク四結節ヲ有スルカ如キ場合ハ輸送ニ任スル主任者並ニ派遣師團ノ主任者共ニ一箇所ニ會同シ連絡ヲ取ルヲ要ス其ノ時期ハ輸送請求表完成直後トス今次ノ輸送ニ於テ朝鮮軍參謀、馬山碇泊場司令官、師團參謀ノ會同ヲ行ヒタランニハ何等ノ問題モ惹起スル所ナカリシナラン

2 派遣輸送ト輸送途中ノ諸演習ニ就テ

今次輸送ノ特色トシテ未完成ノ内地港灣ヨリ出發セシメ第一次輸送ニ在リテハ海上ニ於テハ師團進行ヲ訓練セラレ馬出ニ於テハ戰時計畫ニ全ク合致セシメタル上陸並ニ爾後ノ鐵道輸送ヲ實施セラレ或ハ又第二次輸送ニ在リテハ馬匹ノ無蓋貨車輸送ヲ實施スル等戰時輸送ノ經驗ヲ得ルタメ諸演習ヲナサレタルハ師團ノ最モ同意スル所ニシテ當局ノ計畫ニ萬福ヲ敬意ヲ表スルモノナリ然レ共派遣師團ニ何等ノ豫告モナク實施セラル、ハ甚々迷惑ニシテ實行部隊トシテ相當豫備研究モアリ甚々シキハ演

習ニ捉ハレテ派遣送ナル根本ヲ失ヒ爲メニ師團ノ交代即チ作戰的要求ヲ無視セラルルカ如キハ適當ナラス將來十分考慮セラレ度

3 派遣師團ノ士氣ト出發港灣ノ選定ニ就テ

故國ヲ去ルニ當リ郷土ノ國民ヨリ熱誠溢ルル歡送ヲ受クルハ奮ニ士氣ヲ鼓舞スルノミナラス在滿間ニ於ケル精神教育上絶大ノ效果アルヘキハ想半ニ過クルモノアリ

今次輸送ニ於テ當局カ未完成ナルニモ不拘他ニ重要ナル理由アリタランモ師團ノ希望ヲ容レ小倉、福岡、長崎三港即チ師管衛戍地ヨリ出發セシメ得タルハ眞ニ師團ノ幸福トスル所ニシテ之レカ爲メ士氣ノ作興ノ上ニ地方民心ノ指導ノ上ニ得タル利益ハ實ニ言語ニ絶ス

將來成シ得ル限り今次ニ於ケルカ如ク考慮セラレ度

4 師管内鐵道輸送ト輸送處理官ニ就テ

今次當師團ノ如ク内地鐵道輸送ハ師管ニ限ラレタルカ如キ
場合ニ在リテハ輸送處理官ハ宜シク師團長トセラレ度
是レ輸送ニ關スル事務ヲ著シク輕減シ得ル如ク最モ
現地ノ狀況ニ適應セシメ得ヘキヲ以テナリ

別紙第一

前略

過中上京の節は御世話に相成り申候
 其の節御話申上候ひし博多港利用に關する件研究の結果左記の如
 くは御座候間御通知申上候

判決

博多港は九分通り完成し若干工事を施し或は船着等に考慮を巡ら
 さは四月師團派遣に際し利用可能なり

理由

別紙工事進捗程度並意見参照

博多港を未完成に利用せんとする理由

1 師團從來の作戦任務上乘船上陸に就ては相當研究しあり訓練上
 生地に於て乗船を行ふは價值あり特に丁中隊を有するに於て然
 り

2 博多港築港より初一發に最も關係深き師團の出動に際し利用す

るは對地方的指導上有利なり

3 門司に從來旗艦に利用せられ且地域狹隘にして混雜多きに決り博多港は師團の乗船にのみ使用することとなり整々雜費を削減し得るのみならず福岡市を控へ宿營給養、歡送等萬全なり

4 門司よりするに比し師團配付の關係上小倉部隊を除きては全部福岡一門司間の鐵道輸送を省き得

尙大村駐屯部隊は長崎より出帆せしめ既意向もあり此の方は港の景況に論なく又例令博多とするも可成の鐵道輸送を省き得只船繰の關係如何に相成るものなるや御研究の上御便宜御取計被下度候

若し御研究の上博多港利用の價值をお認めの上は成るべく速に専門家を御派遣被下度細部具体的に研究を進め度存候
完成の曉に於ては相當のものと相成るべく別紙完成後の狀況をも

0424

相添へ右御通知申上候

二月一日

物部中佐殿

侍史

鈴

木

敬

白

別紙第一

物部中佐ニ提出セル工事進捗程度

一、築港完成ノ時期 昭和十一年度

二、岸壁ノ有無 有り

三、岸壁ノ長さ

繫船岸壁 四〇〇米 一一一一 水深七米八八

同 一〇〇米 一一一一 同 三米六〇

計 五〇〇米

四、横着シ得ル商船ノ噸數及同時ニ横着シ得ル雙數

五千噸級 一雙

三千噸級 二雙

五百噸級 二雙

計 五雙

五、築港内ノ水深

0425

航路延長一、七九〇米

幅員 一五一米五 干潮面下七米三

岸壁前面五〇、六八二坪 水深七米八八

港内二八六、三一六坪 同 水深三米六〇

其他 水深七米三〇

六 起重機ノ有無及其數

力二十噸一基 五噸一基

七 貨物集積場ノ幅員

延長 五〇〇米 一一米

同 八七七米 三米八〇

八 引込線（鐵道）ノ有無

電車軌道引込線

本線 二、一七一米

側線 二、三〇〇米

計 四、四七一米

別紙第二

船舶班仙頭大尉トノ協定ニ基ク第十二師團滿洲派遣
ノ爲メ船舶輸送要領ノ大要

第一、一般ノ要領

努メテ派遣各部隊衛戍地附近ノ内地港灣ヨリ出發シ大連ニ
上陸ス

派遣師團ヲ概ネ二分シ第一次ヲ四月八、九兩日ニ渡リ第二
次ヲ四月十八、十九日ニ渡リ乗船ノ上出帆セシム

第二、軍隊區分及薪要運送船並出帆港等別紙第一ノ如シ

第三、宿營給養等

在久部隊（佐賀分屯隊ヲ含ム）及在大村部隊ハ各々乗船地
ニ於テ一泊ス

船舶輸送概見表 第十二師團

順序 搭載日 搭載地 船別 輸送部 隊

備考	第 二 次					第 一 次				
	日 六 十 , 日 五 十 月 四					日 十 , 日 九 月 四				
	崎 長		博 多			倉 小		博 多		
	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
	歩兵第四十六聯隊 一大隊 野砲兵第三十四聯隊 一大隊		歩兵第四十六聯隊 (三大隊欠) 野砲兵第三十四聯隊 (中隊)			歩兵第四十八聯隊 三大隊 輜重兵 中隊			歩兵第四十六聯隊 (三大隊欠) 野砲兵第三十四聯隊 (中隊)	
	歩兵第四十六聯隊 一大隊 野砲兵第三十四聯隊 一大隊		歩兵第四十六聯隊 一大隊 野砲兵第三十四聯隊 一大隊 (中隊欠)			歩兵第十四聯隊 一大隊 野砲兵第三十四聯隊 第四大隊 (中隊)			師團通信隊 歩兵第三十四聯隊 三大隊	
	歩兵第四十六聯隊 一大隊 野砲兵第三十四聯隊 一大隊		歩兵第十四聯隊 (三大隊欠) 野砲兵第三十四聯隊 (中隊欠)			歩兵第十四聯隊 (三大隊欠) 野砲兵第三十四聯隊 (中隊欠)			歩兵第十四聯隊 (三大隊欠) 野砲兵第三十四聯隊 (中隊欠)	
	歩兵第四十六聯隊 一大隊 野砲兵第三十四聯隊 一大隊		歩兵第十四聯隊 (三大隊欠) 野砲兵第三十四聯隊 (中隊欠)			歩兵第十四聯隊 (三大隊欠) 野砲兵第三十四聯隊 (中隊欠)			歩兵第十四聯隊 (三大隊欠) 野砲兵第三十四聯隊 (中隊欠)	

別紙第三

暗 號 電 報

- 一 二十七日博多築港内ヲ巾約百米ニ互リ掃海ノ結果
- 1 干潮時水深岸壁附近五米防波堤附近六米
- 2 築港ノ諸設備ハ出發迄ニ應急施設ヲ完了スル筈
- ニ 出發港決定セズヤ

昭和十一年二月二十八日

參謀長（鈴木參謀）

參謀本部庶務課長

（仙頭 大尉 殿）

別紙第四

船舶輸送希望順序一覽表

第十二師團

備考	第 二 次					第 一 次					順序	
	日 六 十、日 五 十 月 四					日 十、日 九 月 四					乗船 日時	
一、本表ハ運輸部ニ提出セル希望ニテ實施ニ方リテハ若干変更セラルコトアルヘシ	崎 長			多 博		倉 小			多 博		出發港灣	船別
	3	2	1	2	1	3	2	1	2	1		
	歩兵第四十六聯隊第一大隊 野砲兵第二十四聯隊第一大隊			歩兵第四十八聯隊第一第二大隊 工兵第十八大隊		歩兵第十四聯隊第一大隊 騎兵第十二聯隊			師團通信隊 歩兵第二十四聯隊第一大隊 歩兵第十四聯隊(第一第二大隊欠) 野砲兵第二十四聯隊第一大隊(第八中隊欠)		輸 送	部 隊
	924	885	951	1196	1283	943	1077	942	974	1241	歩兵第十一旅團司令部 歩兵第三十四聯隊第一大隊及歩兵隊欠)	歩兵第十一旅團司令部 歩兵第三十四聯隊第一大隊及歩兵隊欠)
	146	90	85	8	30	163	84	96	22	16	歩兵第十一旅團司令部 歩兵第三十四聯隊第一大隊及歩兵隊欠)	歩兵第十一旅團司令部 歩兵第三十四聯隊第一大隊及歩兵隊欠)

別紙第五

謹啓 益々御清榮奉賀候

陳者今般當師團の輸送に關しては格別の御配慮を賜り厚く御禮申上候

別冊の如き輸送請求を提出仕り候遅延の儀不忠御諒承被下度候就ては早速に門司鐵道局及門司運輸部出張所と密に連繫するを要するを認め本日該地に至り打合せの結果別表の如く乗車（乗船）希望を得申候

當時は丁度北九州に在りては最も輪轉材料の不足しある狀況にて鐵道局も全く閉口しあるか如き状態にて種々打合せたる結果何れも一案を得たるものに御座候

勝手なる計畫に御座候得共御認容被下度候はば當方としては種々の要件に合致するものにして好都合と存居候
何卒御査閲の上至急何分の指示賜り度願上候

0432

先は右要用のみ

昭和十一年三月十八日

鈴木参謀

鐵道輸送希望順序一覽表

第十三師團

備考	第二					第一					順序
	崎長		博多			倉山		博多			船
船舶輸送、飲道輸送、閉係、明瞭、ラシムル、爲、明示セルモノトス	連		大			馬		朝			港、上、地、時
	日十二月四		日三十月四			日二十月四			船別		
	3	2	1	2	1	3	2	1	2	1	輸送部、隊
	歩兵第四十六聯隊第一大隊 野砲兵第三十四聯隊第一大隊	輜重兵中隊 (第四中隊欠)	歩兵第四十六聯隊第三大隊 野砲兵第三十四聯隊第二大隊	歩兵第四十六聯隊(工五欠) 野砲兵第三十四聯隊第四中隊	歩兵第四十八聯隊(工五欠) 工兵第十八大隊 歩兵第四十八聯隊第一大隊	騎兵第十二聯隊	歩兵第十四聯隊第一大隊 (本部第一隊、十中隊、第八中隊)	歩兵第十四聯隊第三大隊 野砲兵第三十四聯隊	歩兵第十四聯隊(工五欠) 野砲兵第三十四聯隊(工五欠)	師團通信隊 歩兵第十四聯隊第一大隊及 歩兵隊	輸送部、隊及順序
	歩兵第四十六聯隊第三大隊 野砲兵第三十四聯隊第二大隊		歩兵第四十六聯隊(工五欠) 輜重兵中隊	歩兵第三十四聯隊司令部 歩兵第四十八聯隊 歩兵第四十六聯隊(工五欠) 工兵第十八大隊	歩兵第三十四聯隊司令部 騎兵第十二聯隊 野砲兵第三十四聯隊(工五欠)		歩兵第十四聯隊第四大隊 野砲兵第三十四聯隊(工五欠)	歩兵第十四聯隊第一大隊及 歩兵隊	師團司令部 師團通信隊	輸送部、隊及順序	
	日一十二月四	日十二月四			日三十月四		日二十月四			日、乘、時	
		歩兵第四十六聯隊第一、二大隊、ハ、哈爾濱、行、其他、ハ、牡丹江、經由、トス			歩兵第四十六聯隊第一、二大隊、ハ、哈爾濱、行、其他、ハ、牡丹江、經由、トス		野砲兵第三十四聯隊第三大隊(中隊欠)、ハ、馬山(船内)、三泊ス			橋、要	

別紙第七

乗船上陸地師團派遣人名表

順次乗船(陸地)		第二次		第一次	
地	幕僚	小倉	博多	馬山	博多
松田参謀	石田軍曹	原野副官	鈴木参謀	久保副官	武田参謀
井上少佐	日野少佐	井上少佐	日野少佐	井上少佐	吉田副官
岩本主計正	古田主計	三村計手	和田計手	古田主計	三村計手
山本軍醫	石井軍醫正	山本軍醫	石井軍醫正	山本軍醫	石井軍醫正
中村獸醫	角田獸醫	中村獸醫	角田獸醫	中村獸醫	角田獸醫

一、業務實施ニ方リテハ幕僚ノ區處ヲ受クルモノトス
 ニ輸送請求表本規定其他必要諸規定書類ヲ携行スルモノトス

停車場司令部設置位置及要員差出區分表

備考	第二			第一			順次	
	長崎	大村	博多	小倉	博多	久留米	設置停車場	
<p>備考 一先頭軍用列車到着時刻より概不四十八時間前集合開設し最終軍用列車到着後約十二時間後撤収解散スルモノトス 二服装ハ風紀衛兵ノ服装ニ準スルモノトス 三衛兵ノ差出日時及職務ニ関シテハ停車場司令部官ノ定ムル所ニ據ル 四氏名ノ上部ヲ印シテアルハ停車場司令部官ヲ示ス 五兵欄中上トアルハ上等兵ヲ其他ハ一三等兵ヲ示ス</p>	歩四六留	歩四六留	歩二四留	獨山三	野重五	野重六	戰一	
	○歩左寺町後一 歩尉柳瀬良平	○歩左岩元行衛 歩尉田添廣次	○歩左野口靜雄 歩尉曾根崎巖	○歩左立川多郎 歩尉横尾清一	○歩左大橋清忠 歩尉小林繁	○歩左突浦直徳 歩尉秋田照	○歩左高次武夫 歩尉井上弘	將人
	計手一	計手一	計手一	計手一	計手一	計手一	計手一	校
	三上	三上	三上	三上	三上	三上	三上	下士官
	三上	一上	一上	二上	一上	一上	二上	員
	三上	一上	一上	二上	一上	一上	二上	兵
	ラ設ク	長崎港ニ支部			南久留米ニ支部ヲ設ク			摘要